

令和3年度同期会代表の挨拶

37期 芦みな会代表 矢川康治

当期は何と言ってもコロナ禍の中での一年で、開校も7月開始に遅れ、特に今年に入って2度目の緊急事態宣言が発出された後は、活動も制約・制限を受け予定していたバス旅行・新年会・懇親会等の行事も中止となってしまい、ほんとうに残念なことも多くありました。そんな中で一番印象に残ったのは神戸港のクルージングで天気も良く楽しい一日でした。

講義の方は芦屋市、事務局の方々のご尽力のおかげで予定通り実施されて大変有難く、感謝申し上げます。

ということで、今年は例年と比べ会員皆様との懇親・活動の場が少なかったと思いますが、折角何かの縁で集まった皆様との出会いは今後も大切にして行かなければと思っております。

これからは学友会、芦みな会の場で一層懇親を深め、コロナで失った機会を取り戻す気持ちですので、学友会の皆様よろしく願いいたします(なかなかコロナ収束しそうにありませんが..)。

私は芦屋に居を構えただ2年です。当初は芦屋というと高級住宅地というイメージがあり若干の抵抗感がありましたが、実際に住んでみると「住めば都」の通り何処も同じかなと思っております。

芦屋の良いところは海・山も近くて自然環境に恵まれ、大阪・神戸に近く交通の利便性の良さ、一番はお住まいの方々の優しさ、親切さを実感して、大いに満足した日々を送っております。

最後に芦屋川カレッジでの出会いを今後も大切にしていきたいと思っておりますので、学友会の仲間に入れて頂き一緒に楽しくよろしく願い申し上げます。

